

公表日

2025年 2月 20日

事業所名

こぼんはうすさくら 三郷駅前教室

保護者等数(児童数) 18名

回収数 17件(割合94%)

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制 整備	1 子どもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	15	2			施設内だけでなく、施設外(公園や科学館)での活動が有ると良いと思う。広くてのびのび過ごしていると感じる。	天気の良い日は公園での活動を多くしています。
	2 職員の配置数は適切であると思いますか。	9	4		4	施設内の配置人数を把握できていない。常に沢山の先生方が居てくださり安心して預けている。	今後は利用状況と対応職員数を公表します。
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	14			3		
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	14			3	玄関もいつも綺麗に清掃されていて気持ちが良い。	気持ちよく過ごして頂くため毎日終了後に十分に気を付けて清掃しています。
適切な 支援の 提供	5 こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	13			4	家でしてあげることのない支援を受けて助かります。	普段出来ない様な事をプログラムで行う様になっています。
	6 事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	17					
	7 こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画(個別支援計画)が作成されていると思いますか。	17				日々細かい支援計画をして頂き有難うございます。	支援による成果を保護者の皆様との意見交換の機会を積極的にとって参ります。
	8 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	15			2		
	9 児童発達支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	15			2		
	10 事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	16			1	毎日違った遊びや学びで飽きずに楽しんでいます。	変化の有る異なったプログラムを心がけています。
	11 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、その他地域で他のこどもと活動する機会がありますか。	7		2	8		
保護者 への 説明等	12 事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	17					
	13 「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	17					
	14 事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	2	6	4	5	今後、機会が有りましたら宜しくお願いします。機会があれば是非参加したいです。	家族等が参加出来る研修会等は今後の課題とします。
	15 日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況について共通理解ができていると思いますか。	17				アドバイス等いつも伝えて頂き心強いです。	これから子供たちの日頃の様子を家庭と連携して共有していきたいと思っています。
	16 定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	16		1			
	17 事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	15			2	いつも支えて下さり、ありがとうございます。	職員一同、皆様のお役に立つよう心がけています。
18 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいの支援がされていますか。			6	3	8	今後、機会が有りましたら参加したいと思います。	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等、保護者同士の交流の機会等は今後の課題とします。
19 こどもや家族からの相談や申し入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申し入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	15				2		

保護者への説明等	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	17			1日の様子のノートを見るのが楽しみです。	連絡帳と併せ、写真の送付を継続し、より日頃の活動の様子をイメージしやすいように取り組んで参ります。	
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	10	2	5			
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	16			1		
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	8	3		6		
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	6	3	3	5	親も一緒に訓練などできたらいいなと思います。	実施のご案内を2週間前余裕をもってお伝えし、当日参加児童保護者様へ参加のご希望を伺うように致します。
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	7	2		8		
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	13	4			ケガもなく安全に配慮して下さっているのだと思います。事故等大きな事は利用者全員に知らせた方が良くと思う。	現在大きなケガはなく過ごせておりますが、今後の発生に関して保護者様全体へのご報告を御意致します。
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	15	2			こぼんはうすでの様子を写真で見るとリラックスして過ごしているようです。	今後より一層児童に安心して通所していただけるようコミュニケーションを図ってまいります。
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	16	1			楽しく通えてうれしいです。先生方の事も大好きな様子です。	先生・児童より多くの大好きな人を増やせてもらえるようにコミュニケーションをとっていきます。
	29	事業所の支援に満足していますか。	17				満足しています。いつもありがとうございます。	より一層の満足度向上に努めます。

公表日

2025年 2月 20日

事業所名

こぼんはうすさくら 三郷駅前教室

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1 利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	7	0	児発・放デイ両教室併設の為、広さに余裕があります。	広さ・スペースについては改善が必要と考えていません。
	2 利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	7	0	児童3名に対し最低職員1名の割合を考慮して配置しています。	送迎時間によって一時的に人が薄くなるため、人員数の補強や送迎経路の効率化が課題
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	7	0	チャイルドロックの強化等を行いました。また各部屋一事務所間の壁上部を開け、状況が事務所からもわかるように工夫しております。	今後もヒヤリハットや保護者様・利用児童の意見は柔軟に取り入れたいと思います。
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	7	0	日々の清掃と、植物の配置を意識しています。	個々の特性への理解を深め、より充実させていきたいと考えます。
	5 必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	7	0	安静室を設け、児童の状況によっては利用を促しています。	継続します。
業務改善	6 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参加しているか。	6	0	夕礼時にリーダーが先導して行っています。	残業時間に及び打ち合わせの抑制が課題です。
	7 保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	7	1	モニタリング面談を実施し、個別にご意見を賜っています。	継続します。
	8 職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	6	0	朝礼夕礼に積極的に発言を促し、日々の気づきなど多くの声が上がりました。	継続します。
	9 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	0	7	現在実施できていません。	今後検討してまいります。
	10 職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内で研修を開催する機会が確保されているか。	5	1	主に法人内での研修参加機会を確保しています。	より幅広い研修機会を推進して行きます。
適切な支援の提供	11 適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	8	0	今後公表へ切り替えを行います。	プログラムの公表については現在取り組んでおります。
	12 個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	8	0	問題なく行えています。	継続します。
	13 児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	8	0	カンファレンス実施にて幅広く意見を募っています。	まだ意見がでる職員に型枠があるため、より発言のしやすい環境に努めます。
	14 児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	8	0	問題なく行えています。	継続します。
	15 こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	7	1	規程書式以外の児童情報も個別管理し、従業員へ周知しています。	継続します。
	16 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	7	1	設定されています。	継続します。
	17 活動プログラムの立案をチームで行っているか。	6	4	チームでの立案という形はとっておりません。	リーダーの立案に対し、意見を募る形をとっております。
	18 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	8	0	隔日で固定化されないよう月間カレンダーで管理し分散できています。	今後も継続します。
	19 こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	7	0	行えています。	今後も継続します。
	20 支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	7	0	朝礼時に行っています。当日必要な協力ごとなど、職員間での意見も飛び交っています。	今後も継続します。
	21 支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	4	1	夕礼時に実施できています。	今後も継続します。

関係機関や保護者との連携	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	6	0	行えています。	今後も継続します。
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	8	0	行えています。	今後も継続します。
	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	6	1	オンラインでの実施がメインとなっています。	直接面談の機会を増やせるよう取り組みます。
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	3	3	他施設との3者面談の機会を設けたり、自発管が関連機関へ訪問する機会も設けられました。	継続します。
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	1	5	他施設との情報共有に関しては、現在保護者様を通じて行っています。	直接の交流機会を検討していきます。
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	3	3	現時点ではまだ就学への移行の実績がありません。	今年度より移行が生じるため、情報共有を保護者・児童と図ります。
	28	(28～30は、センターのみ回答)				
		地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。				
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外研修に参加させているか。				
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。				
	31	(31は、事業所のみ回答)				
		地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	3	4	設けられています。	今後もより連携を図ります。
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	0	8	現在設けていません。	まだ開所から1年経過しておらず、地域とのネットワーク構築は今後の課題となります。
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	8	0	連絡帳以外にSNSでの交流などを促進しています。	今後も意見を伺いながら継続します。
34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	1	5	情報共有は行っていますが、研修の紹介などは出来ていません。	研修機会について課題とします。	
保護者への説明等	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	8	0	利用契約の前に専任職員より説明を行っています。	今後も継続します。
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点から、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	8	0	保護者様と面談の機会を設け、意向を伺っています。	面談機械については受け身にならず積極的に発信していきます。
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	8	0	得られています。	今後も継続します。
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	7	0	行えております。	こちらも受け身にならず、相談の有無を積極的に確認していきます。
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	0	8	まだ行えていません。	今後の課題とします。
	40	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	8	0	一方的な決定事項ではなく、報告と相談のうえ実施できています。	今後も継続します。
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	5	1	SNSの活用により行えています。	今後も継続します。
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	8	0	プライバシーポリシーに沿って扱っています。	今後も継続します。
	43	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	8	0	日本語以外の言語対応も柔軟に行っています。	今後も継続します。
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	0	8	行えていません。	まだ開所から1年経過しておらず、地域とのネットワーク構築は今後の課題となります。

非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	3	4	実施できています。	保護者様への参加呼びかけも課題とします。
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、撤出その他必要な訓練を行っているか。	1	6	実施できています。	保護者様への参加呼びかけも課題とします。
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状態を確認しているか。	7	1	確認できています。	継続します。
	48	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	5	2	確認のうえ利用開始しておりますが、現在該当児童がいません。	お預かりする際には抜かりなく対応致します。
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	6	1	行えています。	継続します。
	50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	6	1	行えています。	継続します。
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	5	1	事務所内掲示を行い共有しています。	継続します。
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	8	0	研修参加実施できております。参加報告書にて理解度の確認をしています。	継続的します。
	53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	5	0	行えています。	継続します。